

令和6年7月 斐伊川水系水質情報

令和6年7月(宍道湖26日・中海25日採水)					単位:mg/l(Chl-a: µg/l)					
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	3.9	△	平年並み	3.7	△	平年並み	4.8	△	平年並み
全窒素	上層	0.33	○	良好	0.33	○	良好(平年並み)	0.40	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.036	△	平年並み	0.063	☆	かなり高い	0.061	△	平年並み
Chl-a	上層	9.0	○	良好	9.5	△	平年並み	10	△	平年並み
塩化物イオン	上層	2,210	△	平年並み	8,100	△	平年並み	5,740	○	やや低い
	下層	2,220	△	平年並み	16,400	△	平年並み	12,500	△	平年並み
溶存酸素	上層	8.7		やや低い	8.3		やや低い	8.8		やや低い
	下層	8.0		平年並み	3.2		平年並み	2.0		かなり低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.2	横ばい	3.6	横ばい	4.9	横ばい
全窒素	上層	0.38	横ばい	0.25	やや上昇	0.34	横ばい
全リン	上層	0.041	横ばい	0.031	上昇	0.042	やや上昇

宍道湖の透明度は1.2mから1.9mと上昇し、平年並み。中海の透明度は3.2mから2.3mと下降し、平年並み。米子湾の透明度は2.2mから1.8mとやや下降し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★ <非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆ <かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	× <やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値	↑	△ <平年並み>
平均値-標準偏差値	↓	ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○ <良好>
	↓	ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。
	↓	<やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎ <かなり良好>
	↓	<かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%